

令和6年度(2024年度)用

小学校算数科用

「新編 新しい算数」
年間指導計画作成資料
略案
【2年】

令和5年(2023年)5月31日版

※単元ごとの配当時数、指導内容などは、今後変更になる可能性があります。ご了承ください。

東京書籍

新編 新しい算数 第2学年 年間指導計画案

- ・発展印は、発展的な学習の内容を示しています。
- ・「学習指導要領」欄のAは数と計算、Bは図形、Cは測定、Dはデータの活用、「内取」は内容の取扱いを示しています。

上巻		単元	指導 時数	ページ	指導内容	学習指導要領
前期	1 学期	★学びのとびら	1	2～7	●数学的活動を通した算数科の学び方の確認	第1学年の内容
		1. グラフとひょう	3	8～11	●簡単な一次元表、グラフの読み方、かき方	D(1)
		2. たし算のひっ算	8	12～23	●2位数と1～2位数の加法計算 ●加法の筆算形式 ●加法の交換法則と検算の方法	A(2) 内取(3)
				123	発展 カードを用いた加法の筆算づくり	
		3. ひき算のひっ算	8	24～35	●2位数から1～2位数をひく減法計算 ●減法の筆算形式 ●減法と加法の関係 ●減法の検算の方法	A(2)
				123	発展 カードを用いた減法の筆算づくり	
		★どんな計算になるのかな?	2	36	●2位数の加減についての演算決定	A(2)
		4. 長さのたんい	9	37～49	●長さを表す単位の必要性、有用性 ●物差しが目盛りの読み方、使い方 ●長さの単位「センチメートル、ミリメートル」 ●1cm=10mmの単位関係 ●直線概念 ●長さについての加減計算	C(1)
		5. 3けたの数	12	50～65	●1000までの数の読み方、書き方 ●3位数の位取りの原理、数の構成 ●1000までの数の相対的な大きさ ●1000までの数の系列、順序、大小、多面的な見方 ●10や100を単位とする数構成に着目した加減計算 ●数構成に基づく加減計算(500+30、530-30など) ●大小、相等を表す記号の使い方	A(1)(2)
				124	発展 数の構成に基づく数の大小判定方法の説明	
		6. 水のかさのたんい	8	66～75	●体積を表す普遍単位の必要性、有用性 ●体積の単位「デシリットル、リットル、ミリリットル」 ●1L=10dL、1L=1000mLの単位関係 ●体積についての加減計算	C(1)
		7. 時こくと時間	2	76～79	●時刻と時間の概念、区別 ●1時間=60分、1日=24時間の単位関係 ●午前、午後の意味	C(2)
				124	発展 時刻と時間の意味の正確な使い分け	
		☆おぼえているかな?	—	80	●既習内容の理解の確認	—
2 学期		8. 計算のくふう	5	81～85	●加法の結合法則、()の使い方 ●簡単な加減の暗算のしかた	A(2) 内取(2)(3)
		9. たし算とひき算のひっ算	10	86～99	●和が3位数になる、2位数と1～2位数の加法計算 ・繰り上がり1回及び、2回の場合 ・波及的に繰り上がる場合 ●差が2位数になる、3位数から1～2位数をひく減法計算 ・繰り下がり1回及び、2回の場合 ・波及的に繰り下がる場合 ●百の位への繰り上がりがない、3位数と1～2位数の加法計算 ●百の位からの繰り下がりがない、3位数から1～2位数をひく減法計算	A(2) 内取(3)
				125	発展 3つの2位数の加法筆算	
10. 長方形と正方形	10	100～112	●三角形、四角形の概念と用語 ●辺、頂点の意味 ●直角の概念 ●長方形、正方形の概念、性質、かき方(方眼紙を利用) ●直角三角形の概念、性質、かき方(方眼紙を利用)	B(1) 内取(5)		

下巻		単元	指導 時数	ページ	指導内容	学習指導要領
後期	2 学期	11. かけ算(1)	17	2~24	<ul style="list-style-type: none"> ●乗法の意味 ●倍概念の基礎 ●5の段、2の段の九九の構成 ●3の段、4の段の九九の構成 ●「かけられる数」「かける数」の用語と意味 ●乗数と積の大きさの関係の初歩的な考察 ●活動を通しての九九の習熟 	A(1)(3) 内取(4)
		12. かけ算(2)	15	27~48	<ul style="list-style-type: none"> ●6の段、7の段の九九の構成 ●8の段、9の段、1の段の九九の構成 ●かけ算九九の表の考察 <ul style="list-style-type: none"> ・乗数と積の大きさの関係 ・乗法の交換法則 ・簡単な2位数×1位数の乗法計算 ●倍とかけ算 ●かけ算九九を適用して解決する問題 	A(1)(3) 内取(4)
		☆おぼえているかな？	—	49	●既習内容の理解の確認	—
3 学期		13. 4けたの数	11	50~63	<ul style="list-style-type: none"> ●10000までの数の読み方、書き方 ●4位数の位取りの原理、数の構成 ●10000までの数の相対的な大きさ ●10000までの数の系列、順序、大小、多面的な見方 	A(1)(2) 内取(1)
		14. 長いものの 長さのたんい	6	64~71	<ul style="list-style-type: none"> ●長さの単位「メートル」 ●1m=100cmの単位関係 	C(1)
		15. たし算とひき算	5	72~79	<ul style="list-style-type: none"> ●減法逆の加法、加法逆の減法等の問題解決 ●加法と減法の相互関係 	A(2) 内取(2)
				109	発展 減法逆の減法の問題解決	
		16. 分数	5	80~88	<ul style="list-style-type: none"> ●具体物を用いて1/2や1/3などの大きさを作ること ●1/2や1/3などの数を分数と呼ぶこと 	A(1)
				デジタル	発展 倍と分数を用いた数量の関係の考察	
		☆おぼえているかな？	—	89	●既習内容の理解の確認	—
		17. はこの形	5	90~95	<ul style="list-style-type: none"> ●箱の形を基にした立体と平面の関係 ●立体図形(立方体、直方体)の構成要素としての頂点、辺、面の特徴 	B(1)
109	発展 展開図による立方体の向かい合う面の考察					
★計算ピラミッド	2	96~97	<ul style="list-style-type: none"> ●1~2位数の加減計算の習熟 ●伴って変わる2つの数量の関係に関する初歩的な考察 	A(2)		
★2年のふくしゅう	4	98~102	●2学年の学習内容の総復習、働かせてきた数学的な見方・考え方の振り返り	A~D		

年間の総時数 標準時数 175 時間	2学期制 前期 78 + 後期 70 = 148	予備時数 27 時間
	3学期制 1学期 53 + 2学期 57 + 3学期 38 = 148	